

議題（４）

資料 6

# 埼玉県営水道の料金改定に伴う 幸手市への影響について

# 1 埼玉県水道料金の単価推移

年 月	1 m <sup>3</sup> 当りの単価（税抜き）	1 日当りの受水量
昭和57年4月	5 9 円	5, 1 0 0 m <sup>3</sup>
昭和59年7月	7 7 円	8, 0 0 0 m <sup>3</sup>
昭和63年4月	7 9 円	8, 6 0 0 m <sup>3</sup>
平成4年4月	8 4 . 8 3 円	1 0, 0 0 0 m <sup>3</sup>
平成9年4月	6 5 . 3 5 円	1 1, 0 0 0 m <sup>3</sup>
平成11年4月	6 1 . 7 8 円	1 3, 4 0 0 m <sup>3</sup>

# 2 近年の埼玉県水道の受水量と受水費

年 度	各年の受水量実績	受水費（税抜き）
平成30年度	4,780,440m <sup>3</sup>	295,335,586円
令和元年度	4,789,650m <sup>3</sup>	295,904,582円
令和2年度	4,774,240m <sup>3</sup>	294,952,553円
令和3年度	4,742,750m <sup>3</sup>	293,007,100円
令和4年度	4,743,340m <sup>3</sup>	293,043,552円

### 3 埼玉県水道料金改定の理由

- (1) **現行料金** (61.78円／m<sup>3</sup>) の算定期間が、  
**令和6年度**で終了
- (2) 安全・安心な水を**安定供給**するため、  
**持続的な経営**が必要
- (3) 今後、**必要な建設改良費に対応**してい  
く**料金が必要**

### 4 料金改定の時期と期間

- (1) 料金算定期間 令和7～10年度 (4年間)
- (2) 施行日 令和7年4月1日

## 5 埼玉県水道料金改定方針

### 方針 令和7年度は据置き、令和8年度改定

- (1) 県営水道の経営状況を考慮すると、令和7年度からの改定が望ましい
- (2) 受水団体の意見として、受水団体も料金改定が必要な場合もあり、料金改定のための審議会運営期間が必要である
- (3) 受水団体の意見を最大限考慮したうえで、県水経営の健全化及び資金繰りに支障のないことが、方針検討の判断基準

## 6 検討されている埼玉県水道料金

算定期間 令和7～10年度（4年間）

令和7年度 61.78円／ $\text{m}^3$ （据置き）

令和8年度 76.23円／ $\text{m}^3$ ※（令和10年度まで）

## 7 埼玉県水道料金が改定された場合の影響

令和4年度の受水量で積算（税抜き）

受水量	改定前単価	改定後単価	改定前購入費	改定後購入費	差 額
4,743,340 $\text{m}^3$	61.78円/ $\text{m}^3$	76.23円/ $\text{m}^3$ ※	293,043,552円	361,584,808円	68,541,256円

毎年度、約6,860万円程度の負担増となる

※76.23円／ $\text{m}^3$ については、変動要素があります